資料３－１

新型コロナウイルス感染症に関する留意事項について

令 和 ２ 年　11 月　12 日
岩手県新型コロナウイルス
感　染　症　対　策　本　部

岩手県内において、このところ感染源の推定が困難な事例が連続して確認されていることから、岩手県新型コロナウイルス感染症対策専門委員会のコメントを踏まえ、下記の事項に留意するようお願いします。

記

１　基本的な感染対策の実施

- 手洗い、常時マスク※及び咳エチケットを励行する。
- 密閉、密集、近距離での会話や発声等を避ける。
- 室内の換気、湿度の調節を心がける。

２　追加的な感染対策の実施

- 【県民及び岩手県来訪者】常時マスク着用、多人数会合等の回避
- 【事業所】健康状態・行動歴の記録
- 【接待を伴う飲食店の利用者と従事者】接触情報、連絡先情報の記録
- 【医療機関】積極的な検査の実施

※常時マスクの考え方

人と人との距離が十分に確保できる状況ではマスクを外すことも可能ですが、一般的な社会生活では頻繁にマスクの脱着を行うことになります。そのためマスクを装着した状態を基本とするものです。

・食事の際にはマスクを外さざるを得ませんが、会話しながらの食事は座席に十分な距離が必要となります。2m程度の距離が確保できない状況では、食事と会話を別々の行為と考えて食後にマスクをした上で会話することを推奨します。

・運動時や屋外であって、他の人々との距離が十分に確保可能な状況ではマスクを外しても問題ありませんが、そのような場合でも、会話をする場合にはマスクを装着することを推奨します。

参　考

新型コロナウイルス感染症に関するコメント

令和２年11月12日
岩手県新型コロナウイルス
感染症対策専門委員会

岩手県においては、このところリンクが追えない（感染源の推定が困難な）事例が連続して確認されていることから、当面（少なくとも今後２週間）、県内（特に盛岡市）における市中感染のリスクの高まりが懸念されます。

ついては、県民、事業所及び医療関係者にあっては、下記の事項に留意するよう推奨します。なお、今回のコメントは、あくまでローカルなヘルスアラート、リスクコミュニケーションとして行うもので、法的拘束力はないものです。

記

１　基本的な感染対策の実施

(1)　**手洗い、常時マスク及び咳エチケットを励行する。**

(2)　**密閉、密集、近距離での会話や発声等を避ける。**

(3)　**室内の換気、湿度の調節を心がける【冬期間】。**

２　追加的な感染対策の実施（奨励）

(1)　**【県民及び岩手県来訪者】　常時マスク着用、多人数会合等の回避**

ユニバーサルマスキング（常時マスク着用）を実施すること、また、多人数（概ね８名以上＝ＪＲの基準を準用*）の集合による酒食を伴う宴会や狭小な個室での会合を避けること。＊Q&A 参照

(2)　**【事業所】　健康状態・行動歴の記録**

業務管理の一環として、職員全員が２週間前からの健康状態と行動歴を遡れるように記録する取組を推奨すること（体温測定と自覚症状、周囲の同僚家族の状況も含む）。

(3)　**【接待を伴う飲食店の利用者と職員】　接触情報、連絡先情報の記録**

接触確認アプリ「ＣＯＣＯＡ」のインストール又は連絡先を記録（来店時）すること（匿名客の抑制・把握が、結果的に営業自粛等の回避につながること）。

(4)　**【医療機関】　積極的な検査の実施、診療・検査医療機関の指定**

病院の救急診療部門や医師会会員医療機関にあっては、若年成人（15～39 歳、特に 18 歳以上）、飲食店職員及び集団利用歴のある者のうち、有熱者については、独居であっても生活行動範囲が広いことから、より積極的に抗原検査あるいはＰＣＲ検査に繋げること（積極的に診療・検査医療機関の指定を受けること）。

Q&A

Q1:さきに公表された新型コロナウイルス感染症に関するコメント中、２（１）に「多人数（概ね８名以上＝JR の基準を準用）」とありますが、どの部分を準用されたのか。

回答および解説

出典：

https://www.jr-odekake.net/railroad/ticket/guide/normal_tickets/discount_group.html

・あくまで「団体」の定義として採用したもので、感染対策上は７名ならば安全というような根拠として用いるものでないこと。

・公共交通機関や食事の際は４人がけ単位での客席・食卓構成が一般的であり、２名がけに比べ前後（左右）に加えて左右（前後）の関係が生じること、４の倍数で席数を増加させる慣習がある事などは感染対策上も留意する必要があります。

・なお、感染対策上は隣り合う客席・食卓が１m 程度の間隔を確保できない状況では、異なる集団が隣り合う場合であっても、全体として「団体」と同様の集団とみなされます。従って、感染対策の面では、可能な限り座席間の距離を取る必要があります。

Q２:常時マスクの推奨については、食事の際はどうすべきか。また、運動時や屋外ではどうすべきか。

回答および解説

・集団の全員が常時マスク装着に努める（ユニバーサルマスキング）を行うことは、それぞれのマスクが完璧なウイルス阻止性能を有していない場合であっても、人々が相互に装着することで感染リスクが軽減できるという研究を根拠としています。

・原理的に、距離が十分に確保できる状況ではマスクを外すことも可能ですが、一般的な社会生活では頻繁にマスクの脱着を行うことになります。そのため、装着した状態を基本とするものです。

・食事の際にはマスクを外さざるを得ませんが、会話しながらの食事は座席に充分な距離が必要となります。２m 程度の距離が確保できない状況では、食事と会話を別々の行為と考えて食後にマスクをした上で会話することを推奨します。

・マスクは個々の材質や性能よりも、マスク周辺からの漏れがない装着方法が推奨されます。

・また、マスクを併用しない状態での、フェースシールドやマウスシールドの使用は推奨されません。

・飲食店の従業員等、不特定多数との接遇を伴うみなさんにおいてはフェースシールドやマウスシールドとマスクは必ず併用していただくようお願いします。

・運動時や屋外であって、他の人々との距離が十分に確保可能な状況ではマスクを外すことも可能です。そのような場合でも、会話をする場合にはマスクを装着することを推奨します。